



クラブ
主題

～ 伝えよう感謝 喜び そして 悲しみも ～

会長 五十嵐 由紀

会長/五十嵐由紀
副会長/八木悠祐・左近宏崇
書記/田中雅博・金原弘明
会計/山口雅也・藤野 篤

- 国際主題: I P Jacob Kristensen (デンマーク) "VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP" 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
- アジア太平洋主題: A P David Lua (シンガポール) "Make A Difference" 「変化をもたらそう」
- 西日本区主題: R D 古田 裕和 (京都トウビー) 「Let's do it now」～2022に向け誇りを持ってAll is well～
- 京都部主題: D G 中村 隆司 (京都ウエル) 「人生は一度きり」～出会いから全てが始まる～
- メネット主題: RSD 吉本 典子 (熊本ジェーンズ) 勇気を持ってやさしさを！ 小さな事でも世界は変えられます。



初めてのファンド委員長

ファンド委員長 森 繁 樹

入会 14 年目で初めてのファンド委員長を五十嵐会長より任命されました。

今期の事業方針は、1、会長主題を念頭にファンド事業を行う。2、既存の課題を克服する。3、新しいファンドへチャレンジする。でスタートしました。

「既存の課題」とは、じゃがいもファンドの十勝じゃがいもの荷降ろし場所の問題です。ここ数年、安全な荷降ろし場所をいくつか模索してきましたが、なかなか安全で最適な場所が見つからない状態でしたが、今期は、京都めいぶるクラブ様のご紹介により、京都パルスプラザの広い広い駐車場を使用することができました。(メリット)は、①時間が早朝でなく余裕の9時にスタート。②駐車場が広いので3クラブほぼ同時に荷降ろしができた。③3クラブだけなので超安全でした。④駐車場の使用料も3クラブで6,930円とリーズナブルでした。(デメリット)は、特にはないのですが、毎年使用できるかどうか、不確定で、数ヶ月前でないといわれないことです。なので、来期も、毎年、毎年、使用できる安全な場所を模索していく必要があります。

「新しいファンドへチャレンジ」としては、メルカリファンド、バラ 100 本の花束ファンド、ペイペイ還元ファンド、お仕事紹介ファンドと、新たなファンドを試みましたが、なかなか大きな成果には繋がっていない状況です。他に今期は、久しぶりに、名刺、ジャンパー、日帰り旅行、写真等ファンドを行い、たいへん喜んで頂いております。

下半期の目玉は、ファンドオークションです。オークション品の提供をよろしくお願いいたします。

メンバーの皆様には、ファンド事業に多大なご協力を頂き、本当にありがとうございます。この場をお借りして、御礼申し上げますと共に、下半期もどうぞよろしくお願いいたします。

今月の聖句 ただし、見よ、見出したことがある。神は人間をまっすぐに造られたが、人間は複雑な考え方をしたがる、ということ
旧約聖書 コレヘトの言葉 7章 29節



解説 今月も前回に続いてコレヘトの言葉からです。

私たちは長く生きれば生きるほど様々な経験を経てこの世の知識や知恵を身につけ物事をさまざまな観点から分析し正しく把握し、間違いのない判断をしようとしています。

しかし、その結果かえって物事や人の見方が偏ってきていることはないでしょうか。

例えば、人を信じるということ一つとっても、その人を信じて裏切られたらどうしようとか考え出すと簡単に信じることができなくなったりします。

しかし人など見えるものはまだしも、見えないものを信じるということはいろいろ考えだすと信じることはできなくなります。この言葉は、時にはそのように物事をありのままにみることで見えてくることを教えています。

西日本区
強調月間

3月 JWF

JWFは皆さまの厚意によって支えられています。
個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします。
西野陽一 JWF 管理委員長 (大阪高槻クラブ)

年間強調
目標PR

ワイズメンズクラブ内外の人達にもっと広報して、EMC やクラブの活性化に繋げましょう。
大槻信二 広報・情報委員長 (京都センチュリークラブ)



強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2月第一例会・2月第二例会

緊急事態宣言発出に伴い中止

EMC 委員会主催オンライン飲み会に参加して

YMCA サービス・ユース委員長 椿 森 昌 史

2月16日(火)EMC 委員会主催オンライン飲み会が ZOOM にて、開催されました。コロナ禍による緊急事態宣言を受け、例会も中止となって、メンバー同士の交流も少なくなっている状況ですが、多くのメンバーがオンラインで顔を合わせ、各々の場所で、好きな飲み物を片手に、好きな物をつまみながら、近況報告を行いました。時にはコメントが顔を出したり話したり、リアルな会では見られない部分も垣間見られた気がします。また、参加者を飽きさせない八木さんの絶妙な進行と、大門 EMC 委員長のパワフルな声により、この会をより楽しく盛り上げられたように思います。



メンバー 14 名、メンバーゲストも 1 名参加し、充実した有意義な時間が共有出来ましたし、全員が参加してのリモート例会の可能性も感じる事が出来たのではないのでしょうか。コロナ禍もワクチン接種が始まり、やっと収束の光が見えてきましたが、まだまだ時間が掛かりそうです。こんな状況だからこそ、交流の大切さを実感し、アイデアを出し合う事で、クラブの結束も強くなるような気がします。



2月度東京クラブさんの例会に参加して

交流委員長 倉 見 直 樹

1月に引き続き東京クラブさんの例会にリモート参加いたしました。TOF 例会にあたる例会でした。キャピタルクラブからはドライバー委員会の皆さん、左近副会長、交流委員会、計7名で参加させて頂きました。ゲストスピーカーは日本キリスト教団千代田教会の戒能牧師様でした。コロナウィルスから遡ること約 100 年、世界中がスペイン風邪のパンデミックに襲われていることについてのお話でした。キリスト教の歴史についての文献を詳細にお調べになられた戒能牧師様は、その記述がほとんどないことにお気づきになられました。

その理由について当時の国で起こっていたことや時代背景、経済状況の違いから興味深い推察をされていました。お話を聴き終わってから、これまでにない角度からコロナウィルスを考える大変いい機会をいただいたと感じました。

参加者 石倉、倉見、左近、宮崎、八木、山口、山田

花ファンドご報告



椿森メネットより「大きな花束だったのでテンションが上がって、嬉しかったです。お花が好きな方は、とても喜ばれると思います。」とのメッセージをいただきました！

ぜひ皆様もメネットにプレゼントして「感謝」を伝えてみてはいかがでしょうか！！

京都ウエストクラブ 40 周年記念例会

副会長 左 近 宏 崇

2月6日(土)、五十嵐会長に随行し、国立京都国際会館にて開催されました「京都ウエストクラブ 40 周年記念例会」に参加して参りました。

昨年5月5日開催予定だったこの周年例会は延期されての開催でしたが、開催にあたり相当に悩まれたすえでの決行との由でした。

さて、例会は2部構成で吉川忠昨年度40期会長による開会点鐘にはじまり記念事業報告や記念アクトの発表、トライアングル IBC、クラブ名に「西」とつく5クラブでの“ペンタゴン DBC”の紹介等々と続き、新メンバーの入会式……なんとあの森田恵三さんご子息の森田真吾氏。実は一年以上も前から入会の意思表示をされていたようですが、周年にあわせて発表。全メンバーは当然知っておられましたが、当の森田ご夫妻には完全秘匿！ビックリされつつもとても嬉しそうなのが印象的でした。

生前岡本さんから「どんどん他クラブの例会に出なさい」と言われた意味を実感致しました。総じてとても活気があるクラブであることが感じられる例会でした。翻って『キャピタルらしさ』というフレーズに少しモヤモヤしちゃいました。

ウエストクラブの皆さんありがとうございました。40周年おめでとうございます。



「第3回京都部評議会」に参加して

会 長 五十嵐 由 紀

2月7日(日)10:00から「京都部第25期第3回評議会」が ZOOM にて開催され、幡南 Y 事業主査と共に参加しました。昨年6月に初めて参加した時は何が何やら分かりませんでしたが、3回目ともなると他クラブの方々のお顔も覚えられ、西日本区や京都部の運営内容も分かってきたように感じました。とは言え全てがオンラインで開催され、次の6月20日で最終回となるので改めてとても残念に感じました。

今回の評議会では、石倉次次期部長選任や次期役員選任の件、また次期京都部部会開催日(2021年10月10日)などが承認されました。そして各クラブ会長からの近況報告もされ、コロナ禍にあっても8クラブが新入会員を迎えられ、緊急事態宣言下においても手法を ZOOM やラインミーティングに切り替え例会を中止することなく開催されていることなど、前向きな情報も得られました。また各事業主査からも実施事業の報告があり、他クラブの特色ある事業や京都部ホームページの運営内容なども興味深くお聞きすることができました。YMCA に関しては事業中止が続き財政的に厳しい状況が報告され、ワイズメンとして引き続き支援が必要だとも感じました。あつという間に2時間が過ぎ閉会となりましたが、たくさんの有意義な情報が得られ充実した時間となりました。

with コロナ ～今後の決意を一文字で～

「互」

石倉 尚

今、緊急事態宣言が発令されている。感染者の数は減少に向かっているが医療の逼迫は改善されていない。この状況の中、大阪・兵庫・京都は足並みをそろえて宣言解除に向かおうとしている。報道では病床使用率〇〇%とか、兵庫県は50%を超えているとか、病院に「互助」はないのか？それとも出来ない事情があるのか？なぜ都道府県ごとに逼迫している状況を数値化しているのか不思議である。

「わあー、お隣さん医療逼迫したはるわあー。うちとこ病床空いてるけど貸さんとこなあー。逼迫したらかなんしいー」ワクチンの効果に期待はするが、今後 with コロナを考えるなら、医療機関に互いに助け合う結びつきが必要なのではないか。お隣同士で互助が出来れば医療の逼迫も解消されるのではないか。

コロナに限らず、私たちが垣根を越えて助け合うことが『with コロナ』に打ち勝つ唯一の手段ではないだろうか。

「情」

伊吹 純也

私の with コロナの一文字は、「情」です。昨年は非常に時が過ぎるのを早く感じましたが、その理由は仲間や友人と共に過ごす時間が減ってしまったことが理由ではないかと感じております。

このような環境下になり、テレワーク環境が整備されていくにあたって、会社勤務の方もオンラインによる会議等が増えることによってリアルな人とのつながりが薄れつつあります。様々なコミュニティの中でコミュニケーションが希薄になり、関わる仲間や友人がどのような感情を持って過ごしているか、人と接しているかを読み取り難い世の中になったため、自身の感情を伝えることや人の感情を読み取ることの重要性が高まっていると感じています。私個人としては、自身がどうありたいかを考える内省の時間も大切に、自分や他者の感情に寄り添うことで人生を豊かにすることを忘れないようにしたいと考えております。

「信」

倉見 直樹

今年の一文字は「信」です。人とコミュニケーションの絶対量が減っている中、キャピタルのメンバーの皆様はじめ、友人、仕事でのお客様と同僚との信頼関係を継続していくよう丁寧なコミュニケーションを心掛けなければならないと感じています。

「コロナだから……」とあきらめるのではなく、できる範囲で自分の精一杯を考えて実行しています。話がここから変わります。私生活では昨年母親が軽い認知症と診断され、その後、要介護1の認定を受けました。いよいよ来たか、の心境です。人生100年時代というもの、長生きすると認知症は避けられないと考えています。母親の認知症が進行した場合、国が準備してくれている対策を改めて勉強しました。その対策を知っているか、知らないかで大きな違いがあることもわかりました。同級生や仕事上のお客様にも伝え始め、対策を講じ始められた方もいます。知っておきたい、という方はお声がけください。

「先」

黒木 知宏

私が選んだ1文字は一足先の「先」です。

仕事柄コロナ関連もあり、換気扇・網戸の取付けから、自動ドアスイッチの改造（接触型から非接触型へ）、エアーカーテン（冷気が入らないように遮断）、洗面所の手洗いの水栓を自動水栓（非接触型）に取替える工事などを行っています。

そして今後も新たなコロナ関連工事があるかと……

例えば非接触型の照明スイッチなど推進して「接触機会を減らして感染リスクを低減する」など、皆様のお役に立てるように一足先を読み、少しでも社会に貢献できるように行動できればと思っております。

京都部 YMCA サービス・ユース事業懇談会

YMCA サービス・ユース事業主査 幡 南 進

2月19日（金）19時より、今期京都部主催でYMCA サービス・ユース事業懇談会が開催されました。本来なら2020年4月17日開催予定でしたが、コロナ感染拡大に伴い延期、この度のZOOMにてWEB開催となりました。

今期は幡南がYサ事業主査という事で懇談会をホストさせて頂きました。

西日本区よりYサ事業主任益国様、京都部部長中村様からご挨拶いただきました。

続けて京都YMCA 藤尾様から「4月に夜桜フェスタ開催」が決定した第一報を頂き、皆がザワついた様な顔をしていました。オータムフェスタ以来の催しで、本来の姿でもあるので、皆の胸が高まる様なしぐさが印象に残りました。

各クラブ会長、Yサ委員長、代理の方総勢で40名によるZOOM懇談会となりました。

各クラブ様々なお話を頂きましたが「この逆境を乗り越える。」という力強い言葉が特に心に残っています。

私から主題の「先ずは参加!!」副題の「YMCAへの支援が喜びとなる日」を冒頭に伝え、この中でも皆様の健康を第一に考えた方法で、後半サポートできる事を考えていきたい旨をお伝えしました。

本当に多くの皆様ご参加いただき感謝申し上げます。コロナ感染症が収束に向かう事を祈ると共に皆様のご健康を第一に心よりお祈り申し上げます。

皆様ありがとうございました。

YMCA インターナショナル・チャリティーラン2020 (リモート形式)に参加しました!



五十嵐 由紀

普段はほぼ車で移動しているので“参加しても数キロも歩く機会がないのでは?”と悩みましたが取りあえずエントリーしてみました。参加登録などもオンラインのみでスムーズにでき、途中経過のメールが届くなどYMCAはコロナ時代にしっかり対応されているのだなと感心いたしました。登録者数は計41名(うちキャピタル6名)と少なかったのですが、目標の「東京」までの距離は達成され、私は5キロ程度しか貢献できませんでしたが可愛い記念品をいただき、歩くことは心身に良いことだと思い出させていだきいい機会となりました。



金原 弘明

京都YMCAのバーチャルチャリティーランに参加しました。とは言っても、いつも歩いている事務所と家との往復の通勤をこの期間だけ、アプリで距離を測って申告しただけですが……。少し遠回りしていつもと違う街並みも楽しみつづ、合計45.25kmを申告しました。



椿 森 昌 史

歩いてダイエットと思いながらも、なかなか実行できずにいましたが、いい機会を与えてもらったと思い、参加させていただきました。記録は、福知山城の周りを5.64km、嵯峨野の辺りを5.19km、合計10.83kmを楽しみながら歩きました。



幡 南 進

何とかチャリティーランの参加へと、ゴルフ場を歩いてみました。1月29日瀬田ゴルフ倶楽部北コースです。6キロで申請しましたが、実際はジグザグでかなりの距離を歩きました。気持ちの良い天気でした。



八 木 悠 祐

日頃、運動しない私ですが、YMCAバーチャルチャリティーラン期間は電動アシスト自転車を自粛しました。週末のスーパーまでの買い物や、飲み会などの行き帰りを徒歩で過ごしました。8.8kmという不甲斐ない結果でしたが、少し運動した気分にはなりました。

素敵なマスクをいただき有難うございました。



山 口 雅 也

昨年の3月あたりから、朝に散歩を始めています。チャリティーランの企画を聞いて、簡単なので協力しようかということで参加しました。1月16日から末まで9日分で29キロを申請しました。週3～4日ならこれからも続けられそうです。

YMCA NEWS

4月から子どもウエルネスプログラム申込み

スイミングスクール、体操、サッカー、バスケットボール、キッズダンス、自然体験学習プログラム、アフタースクール*

お申込み・お問合せ

京都 YMCA ウエルネスセンター

TEL (075)255-4709

詳しくは予約専用サイト e-YMCA (下記 URL) をご覧いただくか、右記 QR コードを読み取ってご覧ください。

<https://e-ymca.appspot.com/kyoto/index>

*アフタースクールは e-YMCA でなく、電話にてお問合せください。



4月から子ども・成人英会話申込み

3月1日(月)から受付開始いたします。

詳しくは <http://kyotoymca.or.jp/english/?p=2102> をご覧いただくか、または右記 QR コードを読み取ってご覧ください。

お申込み・お問合せ

京都 YMCA 英語学校

TEL (075)255-3287



第8回 役員会議事録

2021年2月24日(水) 19:00~21:10
WEB会議(ZOOM)

〈会長主題〉『伝えよう感謝 喜び そして 悲しみも』

〈西日本区・京都部報告〉 次期会長・主査研修会/西日本区フォーラム/パレスクラブ50周年記念例会(5月23日へ延期)/クラブ活性化資金交付申請【第2次】/コロナ対策特別委員会アンケート/京都部会員紹介ページバナー掲載料/ZEROクラブ10周年記念例会

〈YMCA報告〉 2020年度 卒業リーダー祝会/夜桜フェスタ

〈三役会報告〉 次期委員長の件

〈事業委員会報告〉

- YMCA サービス・ユース事業委員会 (京都 YMCA インターナショナルチャリティラン)6名参加 参加費 12,000円補助
5月実施予定の大会は延期/(Ycup ミニバスケットボール大会)中止/(リトセンチャリティゴルフ)期間中、任意のゴルフ場で実施/(ピンクシャッター)写真、メッセージを投稿/ Yサ懇談会/募金報告

- 地域奉仕・環境事業委員会 (ふれあい広場)3月第一例会以降に録音再開/(メタセコイヤフェスティバル)5月30日リトセン予約完了/i-care kids 京都について/(ワールドクリンアッププロジェクト)クラブとしての方法を検討する/3月第二例会での場主査の講演/FF 献金、CS 献金

- ドライバー事業委員会 3月第一例会、3月第二例会について/CATT 合同例会について/ニコニコ報告

- 交流事業委員会 東京クラブ2月例会リモート参加の報告/東京クラブ90周年のお祝いについて/クラブ内交流企画について

- ファンド事業委員会 2月ファンド実績報告/ジャンパーファンド、名刺ファンド、花ファンド報告/BF 献金報告

- 広報・ブリテン事業委員会 3月号、4月号の骨子報告/フェイスブックについて/HP リニューアル進捗報告

- EMC 事業委員会 委員会主催「リモート飲み会」報告/広義会員へのサポートについて/期首からの各例会欠席人数・出席率について

〈審議事項〉 次期委員長の件 承認

2月第二例会を中止とし5,000円を返金する件 承認

3月第一例会の開催方法の件 承認

弔慰金として10,000円を支出する件(瀬本純夫さんのお母様) 承認

〈その他〉

第9回三役会 3月17日(水)

第9回役員会 3月23日(火) ウェスティン都ホテル京都

編集後記

いよいよ3月に入り、春間近となつてまいりました。2月の後半は少し暖かい日があり、春の気配を感じましたね。2月は逃げる、3月は去るというように、1日1日をより大切にしたい季節でもあります。特にここ数ヶ月どなたにもお伝えする機会が多いのが、普段使っている言葉の棚卸です。あまり良くない状況でもプラスの表現や言葉に変えていけば、前向きな行動に繋がる、例えばピンチはチャンスと言い換えるということなのです。こんな今の状況だからこそ、前向きな行動を実践し続けたいですね。

広報・ブリテン委員長 横田岳士

HAPPY BIRTHDAY

メ	ン	香山章治	3月11日		
メ	ネット	森 絹代	3月3日	吉井香月	3月13日
		香山慶子	3月16日	倉見享子	3月23日
コ	メット	亀井春菜	3月7日	亀井陸矢	3月22日
		倉見航太郎	3月30日		

HAPPY ANNIVERSARY

金原弘明・康代	ご夫妻	3月5日
大山孜郎・悠子	ご夫妻	3月31日

2月報告



例会出席

在籍者数 28名
第一例会 中止
第二例会 中止
メイクアップ 無し
出席率 無し



BFポイント

切手累計 6,800g
現金累計 27,000円
E F 0円
J W F 0円
EF-JWF累計 0円
(BFポイント1月報告について誤りがありましたので訂正してお詫言います)



ニコニコ

第一例会 中止
第二例会 400円
累計 149,450円



ファンド

合同委員会ファンド 2,000円
その他ファンド 1,500円
1月計 3,500円
累計 654,250円



献 血

献 血 0cc
成 分 0名
累 計 0cc



135周年募 金

第一例会 中止
第二例会 中止
今 期 計 19,254円
累 計 273,524円

ポジティブネット募金

第一例会 中止
第二例会 中止
今 期 計 18,974円
累 計 23,516円
YMCA活動継続寄付金
第一例会 中止
第二例会 中止
累 計 23,992円

出席第一...時間厳守...親睦...奉仕...使用済切手収集